



令和3年度学校だより

1月31日

五福校 ごふくこう

No122

文責 本田

学級閉鎖等に関する対応について 冷静な対応をしていただきありがとうございます。今後何卒ご理解ご協力お願いいたします。

この度は、本校においても児童の新型コロナウイルス陽性の確認により、学級閉鎖等の対応をお願いしておりますが、保護者の皆様には、ご多用な中、急な対応にもかかわらずご協力いただき誠にありがとうございます。現在、誰が感染してもおかしくない状況にあります。感染された方には何の非もありません。保育園・幼稚園でも感染が広がっており、家族の誰かが感染した場合、兄弟間での感染を防ぐことも困難な状況です。小学校の中では、「常にマスクをした中で教育活動を行うこと」「黙食をすること」で学校において濃厚接触者とならないよう感染対策に取り組んでいます。ご家族の誰かが熱発した場合や喉の痛みなどの風邪等の症状があった場合もお子様の登校を見合わせていただきますようご協力お願いいたします。学級閉鎖の基準については、1月27日の安心安全メールでお知らせしましたとおり、熊本市教育委員会から目安が示されております。本校といたしましては、感染者が確認された場合、発症から2日間さかのぼって当該児童との接触状況等を確認した上で、教育委員会にも報告し、措置をして参ります。学校医の先生にも相談をしています。具体的には、早期に感染の封じ込めを図るため、原則として3日間の学級閉鎖を行い、その間の学級の健康状態・発熱等の状況を確認し、安全が確認されたところで、解除するかさらに学級閉鎖の措置を延長するか判断していきます。もうしばらくは、予断を許さない状況が続くと考えられますが、保護者の皆様のご協力のもと学校教育活動を継続していくようにしていきたいと考えておりますので何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。なお、国等の方針の変更によっては対応が変化することも考えられます。その際は、またすぐにお知らせしますのでよろしくお願いいたします。保護者の皆様におかれましても、お子様のことだけでなく、お仕事のこと等、ご心配なことがしばらく続くことと思います。皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

オンラインイベント Education week であおぞら学級の県立大学との取り組みや2年生の授業のことが紹介されました。

熊本市教育委員会が主催する教育イベント、Kumamoto education week で、あおぞら学級が熊本県立大学とコラボしたプログラミングについての学習や2年生の授業での様子が紹介されました。子どもたちと先生方が日頃からやっている実践が熊本市の教育の先進的な事例として紹介されることは素晴らしいことだと思います。

